

つばやき  
住民に寄り添った  
行政運営を期待する



いわやつかさ  
岩谷 司 議員

## ハラスメント対策 電話・窓口等の ハラスメント対策は

問

答

### 電話の通話録音 防犯カメラ等を整備した



質問者の動画が  
視聴できます。

**問**  
岩谷議員

①民間では電話でのハラスメント対応に通話を録音しているが、町の電話によるハラスメント対策は。  
②最近、行政に対する暴力行為が取りざたされている。当町の窓口や宿日直の対応策は。また、対応策はいつから実施するのか。

**答**  
町長

①今年度、本庁の電話設備更新に伴い、職員の電話対応・接遇の向上、個人情報の保護及び業務の適正な管理を図るため、すべての通話を録音し、一定期間保存する機能を整備した。ハラスメント対策にも役立つものと考えている。



②先般、発生した事件をきっかけに、職員等を危険から回避する方策を検討する中で、両支所の宿日直業務廃止とそれに替わる機械警備装置の導入を検討する。また、役場は、8月末までに通口をオートロックドアに更新し常時施錠をしているほか、防犯カメラや非常通報装置を整備した。

住民の熱中症対策  
集会施設を  
熱中症避難所に

『自治会独自の取組に  
支援を検討する』

**問**  
岩谷議員

熱中症警戒アラートが発表されたとき、高齢者等が各地区の集会施設を熱中症対策の避難所とする考えは。

**答**  
町長

今年度、役場と両支所の3箇所を、危険な暑さから身を守る休憩スペース「涼み処」として提供を始めた。また、町内4箇所の郵便局でも同様の取組に協力をいただ

いている。  
しかし、役場や支所、郵便局を利用するには、開庁・開店している時で、しかも当該施設から遠い方には利用しにくいことが考えられる。また一方では、指定管理制度に基づき集会施設運営を自治会に任せていることとの整合性や、避難所（涼み処）としての運用を町が強制するようになれば自治会、特に役員の方々の負担が増えることも考えられる。そうした中において、一部の自治会から集会施設を、地域住民の「涼み処」として利用したい旨の相談を受けた。町が集会施設を一律に熱中症避難所とするのは難しいまでも、自治会が独自に取り組む熱中症対策に対して、町が支援する対応を検討していきたい。



大戸瀬中学校の統合  
アンケートの実施は  
隣の中学校統合は

『7月に実施し集計中  
検討委員会で議論』

**問**  
岩谷議員

①アンケートは実施したのか。その結果と公表は。  
②アンケートの実施範囲は、未就学父親からどこまで選定したのか。  
③アンケート結果によっては、隣の鰯ヶ沢中学校との統合も視野に入れた協議を進めるのか。

**答**  
町長

①②「大戸瀬中学校のあり方についての保護者アンケート」を7月に大戸瀬地区に居住する小中学生の保護者及び保育園児の保護者を対象に実施した。アンケートの内容は、次の三つでそれぞれ選んだ理由を記載してもらった。  
1. 深浦中学校と大戸瀬中学校が統合して、深浦中学校に通学する。  
2. 他市町へ大戸瀬中学校の教育

に関する事務を委託して、他の市町立中学校に通学する。  
3. 現状維持

また、アンケート調査実施前には、将来の生徒数の推移や保護者に町内中学校の再編の必要性等の事前説明会を開催し、併せて、鰯ヶ沢町教育委員会を訪問し、アンケートの実施について趣旨を説明した。  
現在、アンケートの集計作業を行っており、結果がまとまり次第、教育委員会定例会に報告後、広報誌等で公表したい。  
③深浦町立中学校のあり方検討委員会、アンケート結果を基に大戸瀬地区の小・中学生等の保護者の意向を尊重しつつ議論し、段階的に進めていく必要がある。

今後の町振興計画  
10年後を見据えた  
庁舎建設の考えは

『建設の考えはない』

**問**  
岩谷議員

昭和57年に役場が建設され42年経った。これまで補修を繰り返し現在に至っている。10年後を見据えた庁舎建設の考えは。

**答**  
町長

役場庁舎は、鉄筋コンクリート造なので、一般的な耐用年数の50年までは、残り8年と単純計算できるが、長寿命化を図りながら、今後15年程度の使用を目指す方針としている。いずれ必要となる庁舎建設の際には、津波浸水区域外への移転の考えを持ちつつも、現時点では、10年後を目処とした庁舎建設の考えはない。

「大戸瀬中学校のあり方についての保護者アンケート」の結果については「広報ふかうら10月号」6ページから8ページを御覧ください。

8ページ

6ページから7ページ



▲深浦町町民総合センター（通称：深浦町役場）2019年5月撮影